

**【水質事故情報】逢瀬川の有機溶剤流出による  
水質事故について(終報)**

逢瀬川で発生した水質事故対応については、オイルフェンスの設置や漂着物の回収など、関係機関が協力して対応してきました。  
水質分析の結果、健康に影響を与える物質は検出されなかったこと、及び河川巡視でも異常は確認されなかったことから、災害対策支部【警戒体制】を解除します。  
これをもちまして水質事故情報を終了いたします。

## 1. 事故の概況

- ・発生場所: 阿武隈川左支川 逢瀬川  
郡山市谷島町地内の工場
- ・発生時間: 平成24年8月26日(日) 12時39分頃
- ・流出物: 第2石油類(過酸化水素製造用の有機溶剤)  
ジメチルエチルベンゼン、2-メチルシクロヘキシルアセテート、2-エチルアントラキノンの混合物
- ・発生状況: 過酸化水素の製造過程で反応触媒として有機溶剤を循環させて使用しているが、混合タンクからの排出ポンプの能力が何らかの原因で低下したものの、供給ポンプが稼働したままであったため、タンク上部のオーバーフロー管から漏れ、雨水ラインから約1.2m<sup>3</sup>流出した。
- ・影響が懸念される河川: 逢瀬川(県管理)、阿武隈川(国管理)

## 2. これまでの対応について

- 26日(日)
- ・15:22 原因者が逢瀬川出口にオイルチューブ設置(①仲江堀)
  - ・16:20 福島県が逢瀬川出口にオイルフェンス設置(①仲江堀)
  - ・17:50 福島河川国道事務所が阿武隈川合流点付近でオイルフェンス、油吸着マット設置(②横塚橋直下流)
  - ・20:45 緊急巡視班を出动させ、阿武隈川本川の状況を確認
- ※各自治体及び下流で取水する利水者には連絡済。
- 27日(月)
- ・9:45 逢瀬川のオイルフェンスに流着した浮遊物質の回収を終了
  - ※9:45までに、吸着マット・凝固体をビニール袋で143袋分を回収済
  - ・11:20 蓬萊発電所(東北電力(株))が、取水口にオイルフェンスを設置
  - ・12:00 阿武隈川本川でオイルフェンスを設置(③二本松市木幡)
  - ・逢瀬川において、工場職員が100人体制で河岸漂着物を清掃済
  - ・仲江堀に2本、逢瀬川に2本、阿武隈川に1本のオイルフェンスを設置済
- 28日(火)
- ・逢瀬川の清掃及び逢瀬川、阿武隈川本川の状況を確認

## 3. 現在の状況について

- ・流出元から新たな原因物質の流出はありません。
- ・阿武隈川及び逢瀬川において、確認された漂着物は回収完了。
- ・逢瀬川合流部(郡山市)、上ノ橋(本宮市)、新舟橋(二本松市)の各地点の水質分析の結果、人の健康に影響を与える物質は検出されませんでした。
- ・河川巡視の結果、魚の斃死等の異常は確認されなかったことから、災害対策支部「警戒体制」を解除し、これをもちまして水質事故情報を終了いたします。

&lt;&lt;発表記者会: 福島県政記者クラブ、福島市政記者会&gt;&gt;

## 問い合わせ先

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局  
国土交通省 福島河川国道事務所 河川管理課  
TEL 024-546-4331(代表)  
副所長(河川) 畠山 浩晃(内204)  
河川管理課長 宍戸 善博(内331)